発災から災害復旧までのプロセスを効率化・高度化するスマート災害復旧の推進

概要

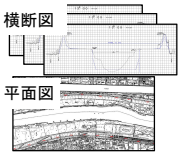
- 被災状況把握から復旧完了までのプロセス全体において、三次元データを流通させることにより早期復旧を実現する。
- 自治体向けデジタル技術活用の手引きを作成するとともに、被災箇所の三次元データを簡易に取得するツールを自治体と共有し、自治体における災害対応力の向上を図る。

Before

従来の災害復旧

- 被害の全容把握の遅れ（広域化・激甚化、危険箇所等）
- 査定準備に多大な労力と時間（人海戦術、業者不足）
- 再測量や再設計（二次元）など二度手間が発生

人海戦術による被災調査



二次元の設計図面

After

三次元データを活用した災害復旧

- 迅速かつ安全に被災地形データを取得
- デジタル技術の活用による査定測量・設計の迅速化
- 災害復旧事業の各プロセスの効率化、全体最適化

工程短縮・品質向上・コスト低減・安全向上

工程表

	令和３年度	令和４年度	令和５～７年度	目指す姿
３次元データを活用した災害復旧事業の迅速化	● 自治体向けガイドラインの素案の作成	● 自治体向けガイドラインの作成 ● 被災状況調査ツールの要件定義	● ガイドラインの周知・活用 ● 被災状況調査ツールの開発・試行 ● 調査ツールの自治体での試行活用	● 3次元データを用いた災害復旧の実施方法を確立し、災害復旧のプロセス全体の迅速化・効率化を実現 流域治水ケタ違いDXプロジェクト【１ケタ】(大規模災害時における調査・設計・積算にかかる日数を大幅に削減)
上記の取り組みにより、利用者目線で実現されるもの	● 災害復旧事業の迅速化に伴う地域の安全性の早期向上 （管理者） ● ３次元データを用いた災害復旧の実施方法を確立し、災害復旧のプロセス全体を迅速化・効率化			